

死者・不明 850人超

東日本大震災 仙台で200~300の水死体



炎上する気仙沼市内 Ⅱ NHKニュースより

警察庁によると、地震による死者は12日午前1時現在、宮城、福島、東京などの1都8県で133人、行方不明者は530人。これとは別に、仙台市若林区で津波による200~300人の水死とみられる遺体が見つかっている。

総務省消防庁や警察庁によると、津波の被害は、岩手、宮城、福島、茨城の4県に及び、多数の死者、行方不明者が出ている。

仙台市では、津波で海岸線の多数の民家が流された。水死と見られる200~300の遺体が発見された仙台市若林区では、海岸から10キロ離れた区役所まで津波が襲来。石巻市でも住宅10棟が流出。気仙沼市では、JR気仙沼駅周辺など市中心部が広い範囲で燃えている。防衛省によると、東西4.5キロ、南北2.5キロの範囲に及び、午後11時55分現在でさらに拡大している模様だという。

岩手県大船渡市の末崎町細浦地区は、津波で地区全体が流され、壊滅状態だという。同市三陸町の綾里地区と越喜来浦浜地区でも、計300棟以上が崩壊または流出。綾里地区では48人の行方が分からず、うち23人が中学生だという。JR東日本によると、同市内を走っていた大船渡線の列車と、津波後に連絡が取れなくなっている。宮古市周辺では10カ所以上の集落が全壊した。陸前高田市も四つの地域が水没した。

福島県相馬市では海岸線で土砂崩れがあり行方不明者が多く出ている。宮城県に接する新地町では住宅414棟が全壊。富岡町でも、海沿いの数百戸やJR富岡駅も津波で倒壊。茨城県大洗町では町中心まで津波が達した。

福島県では、老人ホームで5人が死亡したという情報がある。